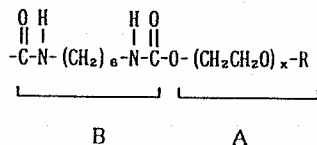
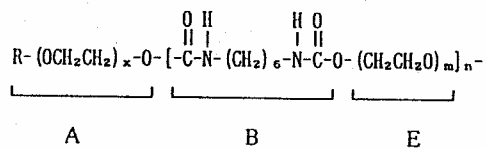


(別紙一)

物件目録(原告案)

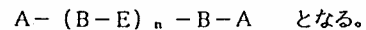
下記1の化学構造を有し、下記2の反応体から生成される非イオン性及び水溶性のポリウレタン増粘剤組成物(商品名 アデカノールUM420)

1、化学構造



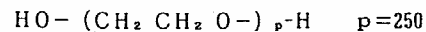
ただし、A: ポリエトキシアルコールの残基
B: ヘキサメチレンジイソシアネートの残基
E: ポリエチレンオキシド
R: メチレン基がついた一ないし四個のフェニル環を有する芳香族基
m: 約250
n: 1-7
x: 5 以上

以上の構造を簡略化して記載すると

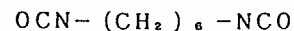


2、反応体

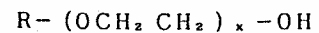
① ポリエチレングリコール



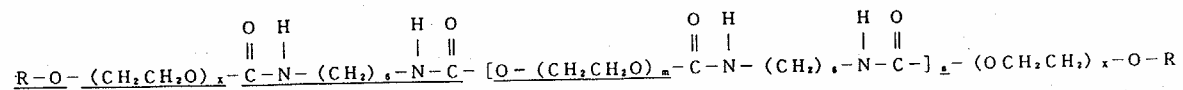
② ヘキサメチレンジイソシアネート



③ ポリエトキシアルコール



以 上



各構成部分に関する原告の説明

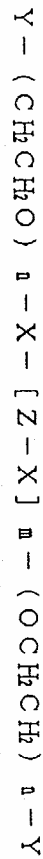
R-O メチレン基とイソプロピル基がついた2ないし4個のフェニル環を有する芳香族基	(CH₂CH₂O)_x xは5以上	$\overset{\text{O}}{\parallel}\overset{\text{H}}{\text{C}}-\text{N}-\text{(CH}_2\text{)}_6-\overset{\text{H}}{\text{N}}-\overset{\text{O}}{\parallel}\text{C}$ C₆の有機ジイソシアネート残基	O-(CH₂CH₂O)_m mは約250	n 平均繰り返し数2.4
---	---	--	--	----------------------------

(別紙二)

物件目録(被告案)

「アデカノールUH四二〇」は、その化学構造を左記の一般式で示され、左記の反応成分から得られる反応生成物である。

一般式



Y:炭素数一二〜三二の芳香族モノヒドロキシル化合物残基からなる疎水性基

X:炭素数六〜一二の有機ジイソシアネート残基からなる疎水性基

Z:平均分子量約七、〇〇〇〜約一〇、〇〇〇の水溶性ポリエーテルグリコール残基からなる親水性ポリエーテル基

n:平均重合数約二三以下で、 $-(CH_2CH_2O)_n-$ は親水性ポリエチレングリコール残基からなる親水性ポリエーテル基

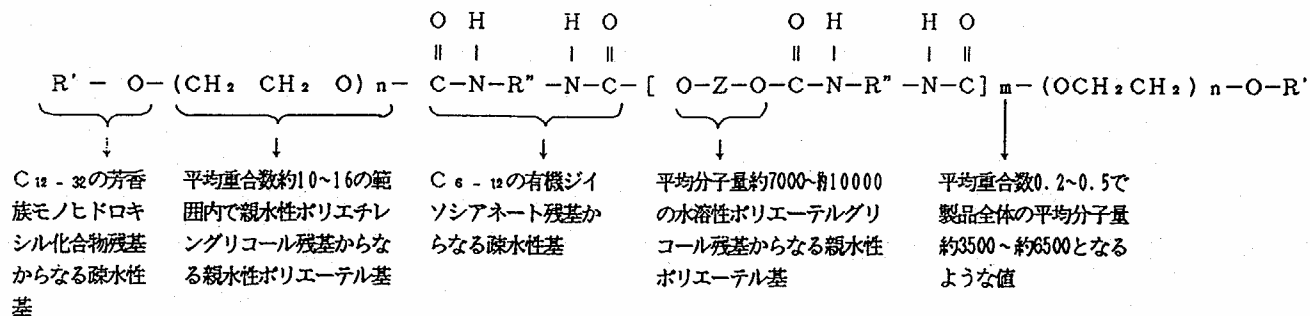
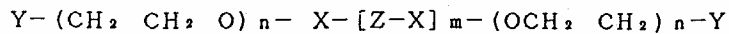
m:平均重合数〇・二〜〇・五で、製品全体の平均分子量が約三、五〇〇〜約六、五〇〇となるような値

反応成分:① 平均分子量約七、〇〇〇〜約一〇、〇〇〇の水溶性ポリエーテルグリコール

② 炭素数六〜一二の有機ジイソシアネート

③ 炭素数一二〜三二の芳香族モノヒドロキシル化合物残基と平均分子量約一、〇〇〇以下の親水性ポリエチレングリコール残基が結合してなる水溶性ポリエーテルモノオール

アデカノールUH420



(別紙三)

特許請求の範囲

エマルションポリマーおよびエマルションポリマーの固形分をベースにして約 0.1 ～ 約 10 重量%の非イオン性の水溶性または水に可溶化しうるポリウレタン増粘剤組成物を含有するラテックス組成物であって、前記ポリウレタン増粘剤組成物が少なくとも 3 個の疎水性基を有し、かつそれらの疎水性基の少なくとも 2 個が末端基であり、それらの疎水性基は一緒にして全部で少なくとも 20 個の炭素原子を含み、それらの疎水性基はそれぞれが少なくとも 1500 の分子量であるポリオキシエチレン鎖からなる親水性ポリエーテル基を通して連結されており、そして前記ポリウレタンの分子量は少なくとも 10000 であり；前記ポリウレタン組成物は下記の 1) ～ 5) の反応生成物から選択され、その中で反応体(a)は少なくとも 1500 分子量のポリオキシエチレン鎖を含む少なくとも一種の水溶性ポリエーテルポリオールであり、前記ポリエーテルポリオールはポリエチレングリコール、酸化エチレンとトリメチロールプロパンとの付加物、および酸化エチレンとジペンタエリスリトールとの付加物の 3 種から選択される化合物、若しくは当該化合物と有機ポリイソシアネートとのヒドロキシル末端プレポリマー、又は当該化合物とそのようなプレポリマーとの混合物であり、反応体(b)は少なくとも一種の水に不溶性の有機ポリイソシアネートであり、反応体(c)は単官能価活性水素含有化合物および有機モノイソシアネートから選ばれる少なくとも一種の単官能価疎水性有機化合物であり、そして反応体(d)は少なくとも一種の多価アルコールまたは多価アルコールエーテルである：

- 1) 少なくとも 3 個のヒドロキシル基を含む反応体(a)と前記有機モノイソシアネートとの反応生成物；
- 2) 反応体(a)と 2 個のイソシアネート基を含む反応体(b)と前記活性水素含有化合物との反応生成物；
- 3) 反応体(a)と少なくとも 3 個のイソシアネート基を含む反応体(b)と前記活性水素含有化合物との反応生成物；
- 4) 反応体(a)と反応体(b)と前記モノイソシアネートとの反応生成物；および
- 5) 反応体(a)と反応体(b)と前記モノイソシアネートと反応体(d)との反応生成物

を特徴とするラテックス組成物